

令和4年度の生活排水処理の実績について

1. 生活排水処理の目標と現状

(1) 処理の目標

令和7年度
生活排水適正処理率 **98.6%**

※生活排水適正処理率は、生活排水を適正に処理している人口が全人口に占める割合

(2) 各年度における生活排水適正処理率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生活排水適正処理率 (%)	98.0%	98.4%	98.6%	98.8%

<生活排水の処理形態別人口内訳 (各年度末)>

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生活排水処理 計画区域内人口	399,953	398,187	396,215	395,300
生活排水処理人口	391,979	391,722	390,609	390,561
合併処理浄化槽	15,800	14,633	13,998	13,529
下水道	376,179	377,089	376,611	377,032
生活雑排水未処理人口	7,974	6,465	5,606	4,739
単独処理浄化槽	6,116	4,802	4,046	3,275
非水洗化(汲み取り)	1,858	1,663	1,560	1,464
生活排水処理計画区域外人口	0	0	0	0

2. 基本課題の実現に向けた施策についての取り組み状況

(1) 公共下水道整備について

① 公共下水道の整備促進

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
整備人口普及率 (%) (整備人口)	97.3% (389,151人)	97.4% (387,668人)	97.5% (386,486人)	97.6% (385,998人)
処理人口普及率 (%) (処理人口)	96.7% (386,793人)	97.3% (387,422人)	97.5% (386,172人)	97.6% (385,795人)
下水道水洗化率 (%) (下水道水洗化人口)	97.3% (376,179人)	97.3% (377,089人)	97.5% (376,611人)	97.7% (377,032人)

整備人口 ……下水道が整備された区域に居住する人口 (**整備人口普及率**: 総人口に占める整備人口の割合)

処理人口 ……下水道に接続することができる人口 (**処理人口普及率**: 総人口に占める処理人口の割合)

下水道水洗化人口…下水道に接続している人口 (**下水道水洗化率**: 処理人口に占める下水道水洗化人口の割合)

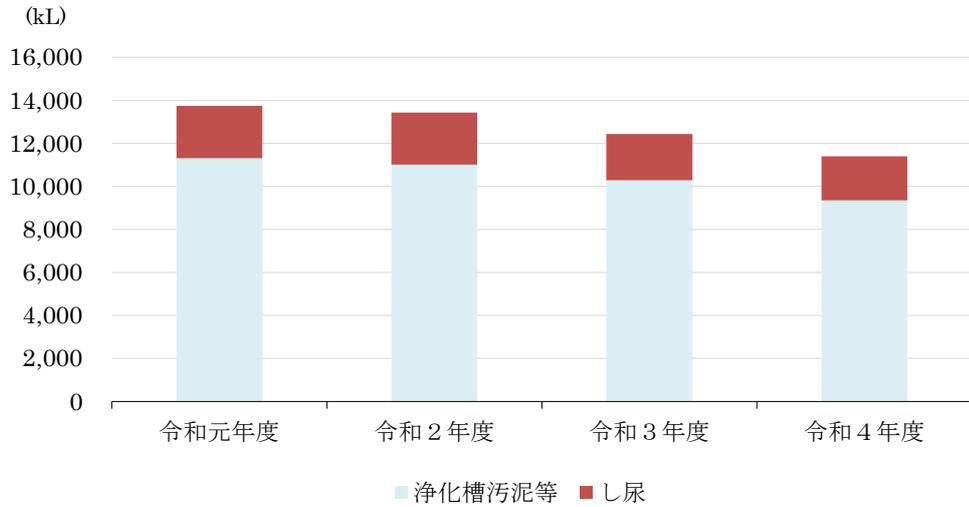
② 下水道未接続家庭等の解消

< 主な取り組み >

- 水洗化改造義務期限の3年以内に工事を実施いただくよう、供用開始から8か月、2年及び2年6ヵ月経過後に、市より接続依頼。
- 供用開始後、水洗化改造義務期限を超過した未水洗家屋(約4,200戸)の所有者に対して平成30年度より5ヵ年計画で指導勧告(戸別訪問による実態調査のうえ水洗化指導、2度の勧告文の送付)を行った。引き続き、水洗化促進に取り組む。
- 汲み取り世帯への文書による下水道接続に関する啓発。
- 供用開始から3年以内に改造工事を行い、接続を行った方に対し改造資金助成として、補助金を交付。改造工事の際に希望する方に、改造資金助成として融資を斡旋。

(2) し尿等の処理について

希釈放流センターでの受入量



し尿・浄化槽汚泥等の受入量の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
し尿	2,439 kL	2,420 kL	2,151 kL	2,045 kL
家庭系し尿	1,718 kL	1,557 kL	1,434 kL	1,298 kL
事業系し尿	721 kL	863 kL	717 kL	747 kL
浄化槽汚泥等	11,301 kL	11,005 kL	10,290 kL	9,348 kL
浄化槽汚泥	11,178 kL	10,921 kL	10,216 kL	9,248 kL
ディスポーザ汚泥	23 kL	24 kL	8 kL	13 kL
し尿含むビルピット汚泥	100 kL	60 kL	66 kL	87 kL

(3) 市民に対する広報・啓発活動及び環境学習

<主な取り組み>

- 広報ひらかたへ記事を掲載した。

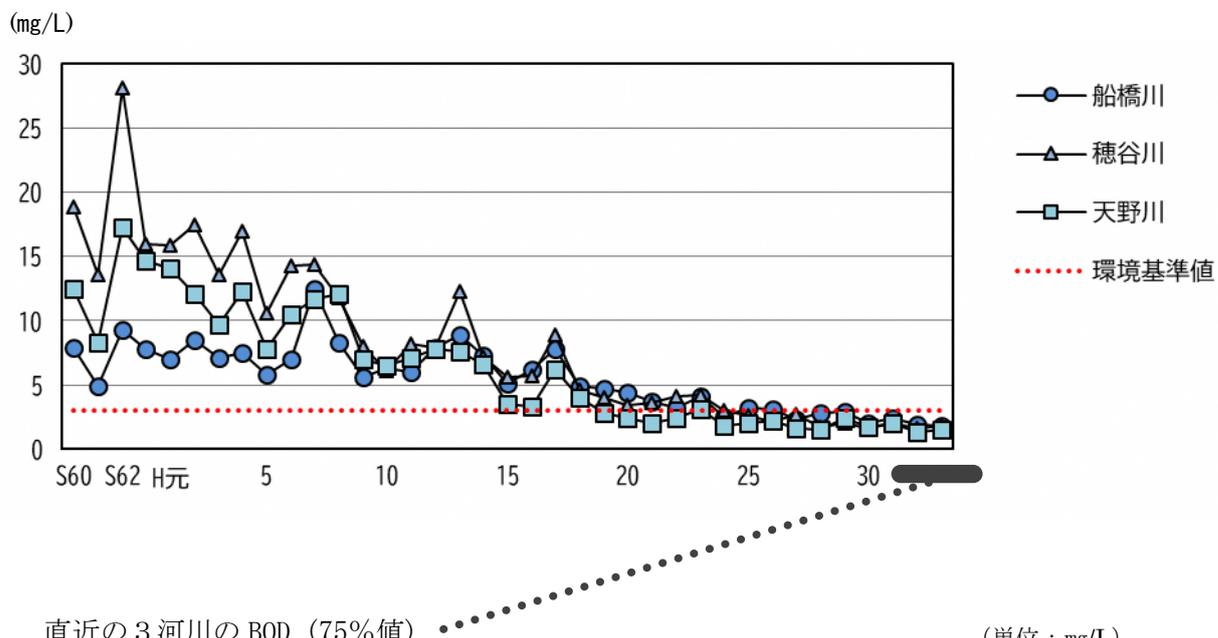
生活排水に関する啓発：広報6月号、下水道及び生活排水に関する啓発等：広報9月号

- 水環境学習会及びパネル展示を実施した。

水環境学習会：合計 7回開催 617名参加、パネル掲示：合計 2回開催

3. 水質汚濁の状況

3河川におけるBOD（75%値）の推移と環境基準との比較



直近の3河川のBOD（75%値）

(単位：mg/L)

年度 河川名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	環境基準
船橋川	3.0	2.1	2.1	2.9	3.0以下 であること
穂谷川	2.5	1.9	2.0	1.4	
天野川	2.5	1.3	1.5	1.7	